

[ホーム](#) > [組織でさがす](#) > [埋蔵文化財調査センター](#) > 平成27年度 整理作業報告

## 平成27年度 整理作業報告

掲載日:2015年12月10日更新

### 整理報告

3月9日更新 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業関連の発掘調査で出土した土器類の検討会を行いました。

調査研究課の橋本です。

豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業関連の発掘調査で出土した土器類についての検討会を実施し、元愛知淑徳大学教授の柴垣勇夫氏、愛知学院大学の藤澤良祐教授にご指導いただきました。

今回、検討対象としたのは、古代以降の陶磁器です。一つ一つの土器について、材質や調整の具合・釉薬の施し具合などをみて、産地・型式・時期等を鑑定していただきました。鑑定の結果はもちろんのこと、鑑定の合間にお話になる言葉からも、とても多くのことを学ぶことができました。

この成果を、今後の報告書作成に活かしていきたいと思っております。



【鑑定のご様子】

1月29日更新 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業関連遺跡の発掘調査で出土した土器類の観察を進めています。

調査研究課の橋本です。

豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業関連遺跡の発掘調査で出土した遺物の整理作業は順調に進んでいます。

一連の調査は、平成19・20年度の**詳細分布調査**から始まり、その後の**有無確認調査**・**範囲確認調査**をへて平成23年からは**本調査**が行われてきました。平成23年度から平成27年度までの本調査は、**延べ43遺跡**に及びます。

この間、**竪穴建物**・**陥穴**(おとしあな)・**炭焼窯**など多くの遺構を検出し、**遺物**も**石鏃**などの**石器類**、**縄文土器**・**弥生土器**・**土師器**・**須恵器**・**灰軸陶器**・**山茶碗**などの**土器類**、**鉄鏃**などの**金属器類**等が出土しています。

現在、**整理作業**においては、**土器類**についての**観察**を進めています。一つ一つの土器に対して、**表面の文様の様子**、**調整の具合**や**断面の形状**などを入念に観察し、**形や文様を実測図**に描くもの、**文様を拓本**にとるものを選び出しています。これら図化された資料、拓本採取された資料は、一層の検討を重ねた後に報告書に掲載されることになります。



【猪移り遺跡(平成24年度調査)出土の縄文土器】



【遺物観察の様子】



1月22日更新 下山発掘調査で出土した遺物の整理作業の報告です。

調査研究課の輪詞です。

豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業関連発掘調査の整理作業は順調に進み、神谷上切遺跡の接合・復元がまもなく終わります。これで下山地区の出土品の接合・復元はほぼ終了し、現在は遺物の復元作業と並行して、実測に必要な、遺物の観察表を作成をしています。

実測とは出土した遺物の形や装飾を観察し、図面に写し取る作業です。実測以外にも土器等の文様を墨で写し取る拓本も行います。拓本は特に縄文土器の文様等を写し取るのに有効な手段です。観察表は遺物の時代や種類等の情報を、遺物1点ごとに記録した一覧表です。実測を効率的に進めるとともに、報告書の文章にまとめるための基礎資料となるものです。



観察表の入力作業

整理作業の様子はこれからも随時報告します。

丸山D遺跡から出土した小瓶と壺

調査研究課の輪詞です。

豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業の発掘調査の整理作業は、接合が全体の4分の3まで進み、現在丸山D遺跡の接合と注記を進めています。

豊田市の丸山D遺跡は郡界川支流、沖川の最上流の山間東斜面に立地し、平安時代の竪穴建物(たてあな)の跡や炉跡が多数確認されました。写真は竪穴建物跡から出土した、平安時代の灰軸陶器の小瓶(しょうへい)です。小瓶とは胴が細く口の小さい、徳利(とっくり)形をした小型の壺のことです。



丸山D遺跡出土、平安時代の小瓶

丸山D遺跡では灰軸陶器とともに、土師質(はじしつ)の壺(かめ)が多数出土しました。次の写真は同じ竪穴建物跡から出土した2点の壺ですが、接合すると破片の時にはわからなかった形や大きさの違いが明らかになりました。他の遺構から出土した土師質の壺でも、形や大きさに違いが見られます。今後、遺構内から出土したこれらの遺物をもとに、人々がいつの時代にどのような生活していたかを検討していきます。

灰軸陶器...奈良・平安時代に大量生産された、うわぐすりを掛けた陶器。

土師質の壺...古墳から平安時代にかけて作られた、素焼きの壺。



丸山D遺跡出土土師質壺(大:手前と小:左奥)

整理作業の様子はこれからも随時報告します。

## 石材の鑑定

調査研究課の鶏飼です。

現在整理作業は栗狭間(くりはざま)遺跡の接合と注記を進めています。

豊田市の栗狭間遺跡は郡界川上流に立地し、縄文土器や石器、平安時代の竪穴建物や中世の掘立柱(ほったてばしら)建物が多数確認されました。写真は調査区から出土した、平安時代の灰軸陶器(かいゆうとうき)と土師質(はじしつ)の壺です。

灰軸陶器...奈良・平安時代に大量生産された、うわぐすりを掛けた陶器。

土師質の壺...古墳から平安時代にかけて作られた、素焼きの壺。



平安時代の灰軸陶器(右)と土師質の壺(左)

下山地区の発掘調査では多数の石器が出土しています。磨石(すりいし)や石皿(いしざら)の石材には、三河山間部でよくみられる花崗岩が使われていますが、石鏃やスクレイパーなどの小型製品は、下山地区では産出しない黒曜石・凝灰岩などの石材で作られているようです。愛知県埋蔵文化財センターの科学分析のチームに石器の材料を鑑定してもらい、石器がどの地域の石材を使っているかを分析していきます。分析の結果は判明次第、報告する予定です。

磨石...こぶし大の自然石を利用し、全面に摩耗痕(まもうこん)がみられる石器。石皿とセットで、木の実や根など植物質の食料を粉碎したり、すりつぶすのに用いた。

整理作業の様子はこれからも随時報告します。

## 石器の選び出し

調査研究課の鶏飼です。

現在整理作業は下山地区の各遺跡で出土した石器について、実測図を作成する石器の選び出しと一覧表への記入を行っています。

石器には皆さんがご存知の石鏃(せきぞく)や石斧(せきふ)のほかに、すり石・たき石や石皿、砥石(といし)など、大小さまざまなものがあります。テストコース関連遺跡の場合、石鏃や石斧は黒曜石(こくようせき)や凝灰岩(ぎょうかいがん)、チャートなどが選ばれて加工されています。これに対してすり石や石皿は現地で容易に手に入る花崗岩が多く、自然の礫と見間違え物もあります。このため愛知県埋蔵文化財センターの川添さんに鑑定をお願いしました。



石器の観察  
1点ずつ、細かく観察しています

まず石器を観察し、人為的に加工・使用した痕跡の有無、石器の種類などについて検討します。これらの情報を一覧表に記入、実測する石器を決めていきます。



一覧表への記入

整理作業の様子はこれからも随時報告します。

## 土器の接合を始めました。

調査研究課の鶏飼です。

遺物の整理作業は順調に進んでいます。前回紹介した注記を終えた遺物は、接合作業に移ります。遺物は昔の人々がいつ、どのような生活や作業を行ってきたかを知る重要な情報源です。遺物は形がすべて残って出土する場合もありますが、ほとんどは破片の形で出土しています。このため遺物の姿を復元するために接合を行います。

遺物は出土した遺構、グリッド(東西南北に格子状に区切られた区画)、素材・模様・形などを手がかりに接合を行います。時には離れたグリッドの遺物が接合することもあり、作業の中で最も楽しい作業の一つです。



接合中の遺物  
この段階では形がよくわかりません



接合作業の様子  
不安定な形のため、支える台を使って組み上げていきます

遺物の接合が進むと、遺物の形がよくわかるようになります。次の写真は、鶴ヶ池遺跡で出土した、縄文土器の深鉢です。土器の底近くまで接合でき、土器が作られた時期を知る上で重要な遺物であることがわかりました。



縄文土器 深鉢

今後は接合を終えた遺物の中から、実測するものを選び出していきます。

整理作業の様子はこれからも随時報告します。

---

4月6日、下山発掘調査の出土遺物整理が始まりました。

調査研究課の鶴飼です。

愛知県埋蔵文化財調査センターでは、豊田市から岡崎市にかけての下山地区で、造成工事に伴う発掘調査を行っています。昨年度までに34遺跡、約10万平方メートルの発掘調査が終了しました。今年度からは発掘調査と並行して、調査成果を報告書にまとめる作業が始まります。

本日より出土遺物の整理を開始します。まず始めるのは、遺物に出土した遺構や位置、日付を記入する注記作業です。遺物に細かい文字を書き込むため、神経を使います。この作業を終えてから、遺物の接合に入る予定です。



注記作業の様子

今後の作業の進行状況について、このコーナーで紹介する予定です。ご期待ください。

#### 関連コンテンツ

- [愛知県埋蔵文化財調査センター](#)
  - [総務課](#)
  - [事業の内容](#)
  - [利用の案内](#)
  - [アクセスマップ](#)
  - [アーカイブ](#)
  - [平成27年度 発掘調査報告](#)
  - [平成27年度 お知らせ](#)
  - [平成27年度 活動報告](#)
  - [平成27年度 整理作業報告](#)

#### 問合せ

愛知県 埋蔵文化財調査センター

電話: 0567-67-4164

E-mail: [maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp](mailto:maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp)